

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



しまね
いまいまねっと 9 月号

平成26年度 地域課題解決アカデミー 開催

地域目線で考える 「支事」づくり

4回
連続



参加
無料

*人・暮らし・地域を支える仕事としての「支事」

岡山県で地元の唐辛子を活用した特産品開発による自律的なビジネスモデルで、福祉や観光事業にも取り組み、地域の包括的な支援を行う「特定非営利活動法人てっちりこ」
「てっちりこ」の取り組みから、継続的な事業運営を可能にする企画や運営方法を学びましょう。

1 回	浜田	11月4日(火)	地域の課題と対象を決める！ 課題の整理、誰に対して、どんな取り組みを行うか。
	松江	11月5日(水)	



2 回	浜田	11月11日(火)	取り組み内容を決める！ サービスや製品を決める。顧客に効率よく届ける。
	松江	11月12日(水)	

3 回	浜田	11月18日(火)	目標を決めて計画する！ 目標と期限を決める。採算を考えて価格を決める。
	松江	11月19日(水)	



4 回	浜田	11月25日(火)	企画を共有してブラッシュアップする！ 企画の発表及び講評。
	松江	11月26日(水)	

時間はいずれも18:00~20:30

- 対象** 地域活動をこれから始めたい方、NPO、地域づくり団体、自治体など
会場 【浜田】いわみぶらっと会議室(浜田市相生町1391-8 シティパーク2階)
 【松江】いきいきプラザ島根 405研修室(松江市東津田町1741-3)
講師 岡本 勝光氏 (特定非営利活動法人てっちりこ 理事長)
 (特定非営利活動法人みんなの集落研究所 会長)
 阿部 典子氏 (特定非営利活動法人みんなの集落研究所 首席研究員)

【問い合わせ先】

(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 担当：内田
 TEL: 0852-28-0690 FAX: 0852-28-0692



助成金情報

<p>第10回 TOTO水環境基金 期 ~ 9 / 30 (火)</p>	<p>地域の水と暮らしの関係の再生または新しい文化の実現に向けた実践活動を対象とした助成です。 対 営利を目的としない市民活動団体 (法人格の有無や種類は問わない) 金 1件あたり上限80万円 問 TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ(担当:宗、曾根崎) Tel: 093-951-2224 http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/</p>
<p>(公財)損保ジャパン記念財団 NPO基盤強化資金助成 「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成 期 ~ 10 / 31 (金)</p>	<p>社会福祉に関する活動を行う団体を対象とした助成です。 対 特定非営利活動法人、社会福祉法人 金 1団体あたり上限50万円 問 (公財)損保ジャパン記念財団 Tel: 03-3349-9570 http://www.sj-foundation.org/</p>
<p>花王・みんなの森づくり 活動助成プログラム 期 ~ 10 / 19 (日)</p>	<p>市民による「森づくり活動」と「環境教育活動」の分野で、地域社会に寄与するものを対象とした助成です。 対 身近な緑を守り、育てる活動に取り組む団体と、身近な緑を活用し、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組む団体。 金 1団体あたり上限50万円 問 (公財)都市緑化機構 「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局 Tel: 03-5216-7191 http://www.urbangreen.or.jp/</p>
<p>(公財)日本社会福祉弘済会 平成27年度 社会福祉助成事業 期 11 / 1 (土) ~ 12 / 12 (金)</p>	<p>社会福祉関係者の専門性向上などを旨とした研修や研究。また、地域社会で取り組んでいる先駆的事业等を対象とした助成です。 対 社会福祉事業や福祉施設の運営、福祉活動などを目的とする社会福祉法人、福祉施設、福祉団体など。法人格のない任意団体、グループは市町村社会福祉協議会の推薦を得て申請してください。 金 総額2,000万円以内 問 (公財)日本社会福祉弘済会 助成事業係 Tel: 03-3846-2172</p>

イベント情報

<p>島根県立ふるさと森林公園 緑の里山自然塾 第6回 日 10 / 5 (日) 10:00 ~ 15:00</p>	<p>園内にあるキノコを散策しながら採取し、専門家に鑑定してもらいます。食べられるキノコはキノコ汁でおいしく試食します。 場 島根県立ふるさと森林公園 森林学習展示館(松江市宍道町佐々布3352) 受付9:30 ~ 定 30人 費 500円 問 NPO法人もりふれ倶楽部 Tel: 0852-66-3586 http://www.morifure.jp/</p>
<p>仲秋の嫁ヶ島 日 10 / 11 (土)・12 (日)・13 (月) 祝 10:00 ~ 17:00</p>	<p>湖上散歩と島のお茶席、3日限りのお楽しみです。 場 岸公園桟橋 費 渡船料金: 大人1,000円 子ども500円 幼児無料 湖上茶席(抹茶・和菓子): 300円 問 NPO法人水の都プロジェクト協議会 Tel: 0852-24-6521</p>
<p>2014神話の里 さくらおろちの 食べごと塾 ~ part2 古民家で楽しむ秋の味覚 日 10 / 26 (日) 10:00 ~ 15:00</p>	<p>楽しく調理体験をしながら、さくらおろち湖周辺地域での素敵な「食の縁結び」を体験。びかびかの仁多米の新米をはじめ、奥出雲の秋の味覚を古民家で楽しめます。 場 奥出雲町布施地区 古民家アトリエえん 【自家用車】 9:45 屋内ゲートボール場スパーク仁多の南側駐車場集合 【送迎バス】 8:05 島根県庁前出発 8:50 松江市宍道ふるさと森林公園出発 定 20人(キャンセル待ち申込先着順) 費 参加料: 1,000円 バス利用負担金: 1,000円 問 NPO法人さくらおろち Tel: 0854-48-0729 http://www.sakura-orochi.jp/</p>
<p>NPO法人はとぼっぼ 第12回福祉講演会 ~住み慣れた町、住み慣れた家で いつまでもこころ「豊か」に暮らせる 地域社会をみんなでつくろう! ~ 日 11 / 2 (日) 13:30 ~ 16:00</p>	<p>福祉ジャーナリストの村田幸子氏による「地域で支える高齢社会」と題した講演会です。 場 いわみーる 4階401(浜田市野原町1826-1) 費 無料 申し込み不要 問 NPO法人はとぼっぼ Tel: 0855-25-0160</p>

アイコンの説明

日 日にち 時 時間 場 場所 定 定員 費 費用 主 主催 期 期日 金 助成金額 対 対象 問 問合せ先

田舎の喜び、おすそわけ！
しまね田舎ツーリズム
10周年記念キャンペーン
10、11月に184プログラム！



今年で10周年を迎える「しまね田舎ツーリズム」を記念し、10、11月の2カ月間にわたり、184の体験プログラムを用意したキャンペーンが県内全域で展開されます！

しまね田舎ツーリズムは、都市住民に農山漁村での生活体験や民家での宿泊体験を楽しんでもらう中で、農山漁村の活性化や交流・移住の促進を図るため、平成17年から実施しています。

今回の10周年記念キャンペーンでは、それぞれの地域に暮らす人々が組み立てた、小さいながらも魅力的な体験プログラムを準備し、皆さんの参加をお待ちしています。

多彩な体験プログラムは、自然や人情いっぱいの島根の田舎を、様々な側面から体感できる内容になっています。例えば...自然農法で育まれた野菜の収穫や、湖でのワカサギ釣り、牛と一緒に島暮らし、里山ウオーク、オーガニックコットンの摘み取り、ミニたたら体験、田舎料理づくり等々。のんびり、ゆったり流れる田舎時間の中で、地域の人たちとの出会いも楽しんでください。田舎の喜びをおすそわけします！

それぞれの体験プログラムの詳しい内容や申し込み方法は、Webサイトやキャンペーンパンフレット等でご覧ください。

<http://www.oideyo-shimane.jp>



地域づくり応援助成金 採択団体決定！

地域の課題解決や地域活性化に向け、団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、団体の立ち上がり期の活動および新規の活動に対して助成する「地域づくり応援助成金」の第1回審査会を開催し、採択団体が決定しました。

採択された団体と事業については次のとおりです。

【公益重視型】

美川山里を活かす会（浜田市）

「山里に元気を取り戻す」

出羽自治会（邑南町）

「出羽地域夢づくりプラン実現のための定住対策事業

【経済発展型】

波多コミュニティ協議会（雲南市）

「はたマーケット開設事業」

大原・クシナダ倶楽部（雲南市）

「玄米麵の商品化を通してもう一度考える、

地域再生プロジェクト」

NPO法人ウインズ（江津市）

「自然・食・人による江津の

新たな魅力発信プロジェクト」



地域づくり応援助成金

第2回募集中！

締め切りは12月5日（金）です。

お問合せ 地域活動支援課

0852-28-0690

NPO法人を知る

受取寄付金等（単位：円）

（市町村別）	2. 受取寄付金	（分野別）	2. 受取寄付金
松江市	38,179,827	まちづくり	13,425,722
浜田市	2,802,560	環境保全	10,525,212
出雲市	5,259,796	経済・産業・観光	3,998,967
益田市	1,186,592	高齢者	19,062,698
大田市	4,994,270	国際協力	2,967,258
安来市	751,001	子ども・青少年	26,711,729
江津市	194,180	社会教育	5,488,388
雲南市	14,241,664	障がい者	8,904,753
奥出雲町	100,000	情報化	115,851
飯南町	192,830	働く人・働き方	2,200,821
川本町	0	文化・芸術・スポーツ	30,785,814
美郷町	1,101,285	保健・医療	2,985,766
邑南町	0	人権・平和	380,583
津和野町	33,000	災害救援	0
吉賀町	90,100	その他	40,000
海士町	134,000	（合計）	127,593,562
西ノ島町	86,500		
知夫村	0		
隠岐の島町	30,000		
合計	69,377,605		

※1つのNPO法人が複数の分野で活動している場合、それぞれの分野に受取寄付金を計上しているため、市町村別の合計と分野別の合計の金額は一致しません。（単位：円）

～寄付金ってどれくらい集めているの？～

寄付金はNPO法人が社会貢献活動を行っていく上で、とても重要な活動原資のひとつであり、認定NPO法人にとっては特に重要な財源となっています。

調査対象となっている219法人の受取寄付金を合計すると、69,377,605円であり、1法人平均316,793円であることがわかりました。県内NPO法人で最も多く寄付金を集めている法人の額は、15,965,600円で次いで6,700,000円です。年間100万円以上集めている法人は17法人あり、その一方で寄付金が0円のNPO法人も105法人あります。

寄付金を得るといことは、信頼を得るといことでもあります。その点で組織の「透明性」が大切となり、広く支援者を確保していく上でも重要となってきます。組織の「透明性」とは、情報の開示や事業内容の報告などを積極的に行って組織の活動を広く知ってもらうことにあります。多くの支援者を得て組織の活動財源を確保し、団体の社会貢献活動をより活発化させ、充実したものに繋げていきましょう。

平成25年度NPO法人白書掲載中
県内NPOのすがたが見えます。ぜひご覧ください。
ポータルサイト「だんだん」
<http://shimane.canpan.info/>

『島根で頑張る人』は県内で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

島根で 頑張る人

よそ者意識

北海道出身、大学進学で東京に出て国際教育について学んできた青山さん。将来はNGOなどでの活躍を考えていた青山さんがなぜ海士町へ移住し、知らない土地に溶け込み、活動が出来ているのだろうか。

平成18年、隠岐へ移住した知人の「おもしろいから来てみなよ」という言葉で初めて海士に訪れた。現在、海士町の取り組みは多くの行政視察を受けるほど注目を浴びている。青山さんが訪れたのは、そんな取り組みがまさに動き出し、様々な動きが島中で起こり始めているところだった。青山さんは「こんなに自分たちのまちを大切に、熱くなれるのか。」と衝撃を受けたという。自分たちのまちの文化や資源を守り、発展させていくんだと町民みんなが想っており、そこでの暮らしに誇りを持っている。だからこそぶつかることもある。青山さんはそんな熱い想いを持った海士町に惹かれたのだ。さらに環境を守りながらも経済発展を目指す海士町の現状を考えてみれば、規模は違えど発展途上国で起きている問題に共通する部分もあるのではないかと自分が学んできたことと共通する面も感じ取り、自分がここでできることがあるのではないかと思ったという。町民の想いに惹かれ、自分の使命を感じ、青山さんは移

住を決めた。

海士町へ移住し、町の観光協会へ入社。1年目より観光案内や島のPRのため様々な活動をしてきた。活動する上では「自分がよそ者である」という意識を大切にしている。地域のわかっていないことも多い反面、よそ者であるからこそ気付ける宝の原石もある。島の宿や文化、食文化などそういった視点を信じながら、より世間に伝わりやすいように工夫し、磨き上げている。今年度、青山さんが企画した「島会議」では、島の人々と向き合って正確に島の魅力を伝え、他組織と連携して効果的な発信が出来た結果として多くの方々に参加してもらっている。これは、町民の方々と理解し合い、連携できる関係を築いていなければ決してできないことである。

現在、全国的にU・イターンの推進が行われている。その中で、移住した地域に馴染めず、違う土地に移り住んでしまう例も少なくはない。地域に惹かれ移住してくる若者、次世代を担う若い世代が必要な地域、お互いが尊重し、理解し合える関係を築いていくことがこれからの地域のあるべき姿である。よそ者意識を忘れず、地域を理解しようとしたからこそ、青山さんは今までも、これからも活動していけるのだ。(N)



「島の定住会議」(6月8日)



海士町観光協会
青山 敦士 さん

北海道北広島市出身。大学で国際理解教育を学ぶ。知人の誘いもあり、平成18年に初めて海士町へ訪れる。平成19年に海士町観光協会へ入社し、今年で8年目となる。島の観光案内をはじめ、情報発信、イベントの企画など多くの事業に取り組んでいる。

団体の今までの活動

昭和43年の設立より、島の観光案内を行っており、旅行の相談なども受け付けている。今年度より「島会議」と銘打って年6回のフォーラムを開催しており、海士町のPRに努めている。

平成26年度「島会議」スケジュール

- 第1回「島の定住会議」(6月8日)
- 第2回「島の観光会議」(7月29日)
- 第3回「島の教育会議」(10月12日予定)
- 第4回「島の暮らしと働き方会議」(11月1日予定)
- 第5回「島の環境会議」(1月下旬予定)
- 第6回「島の経営会議」(3月予定)

スタッフ後記

今月13(土)に開催された松江市の「市民種カフェスタ2014」に定住財団でブースを出展し、NPOの団体さんから募集した「共感CM」を上映しながら、缶バッジの作成をしました。今回は缶バッジの絵柄こしまねっこを加えたことで作業量は多くの人で埋まり、子どもたちの独創的な色紙に感心させられながら賑やかにイベントが終わりました。ただ、定住財団のマスコットキャラクター「ほまたん」の絵柄こしまねっこの人気はやはり勝てなかったのが心残りとなり、「タンポポの種が風に吹かれて遠くへ届くように、島根を愛する県民の思いが全国・世界へ伝わり、島根のよさを発信していただく方がひとりでも多く島根にU・イターンしてきてほしい」という願いが込められている「ほまたん」の意味をもっと伝えていかなければと感じました。(T)



お知らせ だんだん認証レベル取得団体の皆さん おめでとうございます!

【レベル2】

- ・NPO法人スサノオの風
- ・日本寧夏友好交流協会



【レベル1】

- ・NPO法人さくらおるち
- ・NPO法人日本エコビレッジ研究会
- ・NPO法人しまねコーチズ
- ・コープおたがいさまいずも
- ・まちづくりコラボレーション島根
- ・NPO法人しまねMICE推進協議会

[H26.8.31現在]

県内NPO法人数 273
(内 認定NPO法人数 4、仮認定NPO法人数 2)
新設NPO法人数 2 解散NPO法人数 0 (H26.8月分)
しまね社会貢献基金登録団体数 52
だんだん認証レベル取得団体数 43 (内 レベル2 26)

松江事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034

浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見事務所